

第 2 章 那須町の概要

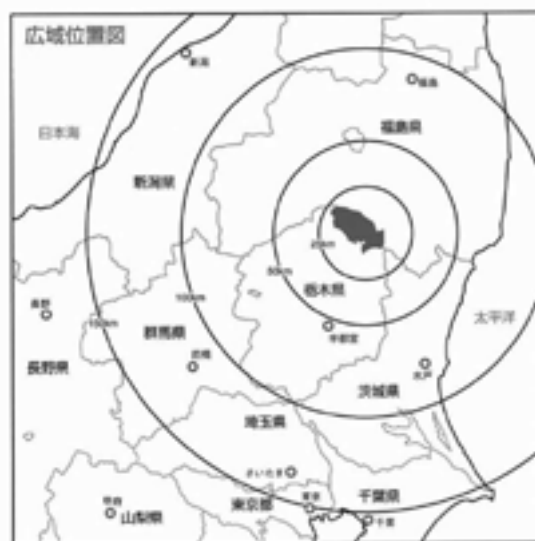
第2章 那須町の概要

1 位置と地勢

本町は、栃木県の北部に位置し、東京都まで約170km、宇都宮市まで約60kmの距離にあります。東は八溝山を境に福島県棚倉町及び白河市に、西は那珂川をはさんで那須塩原市に、南は那須塩原市及び大田原市に、北は福島県白河市及び西郷村に接しています。

那須連山と八溝山地に至る広大な町域の那須町は、総面積372.34km²を有し、栃木県の総面積の約6%にあたります。

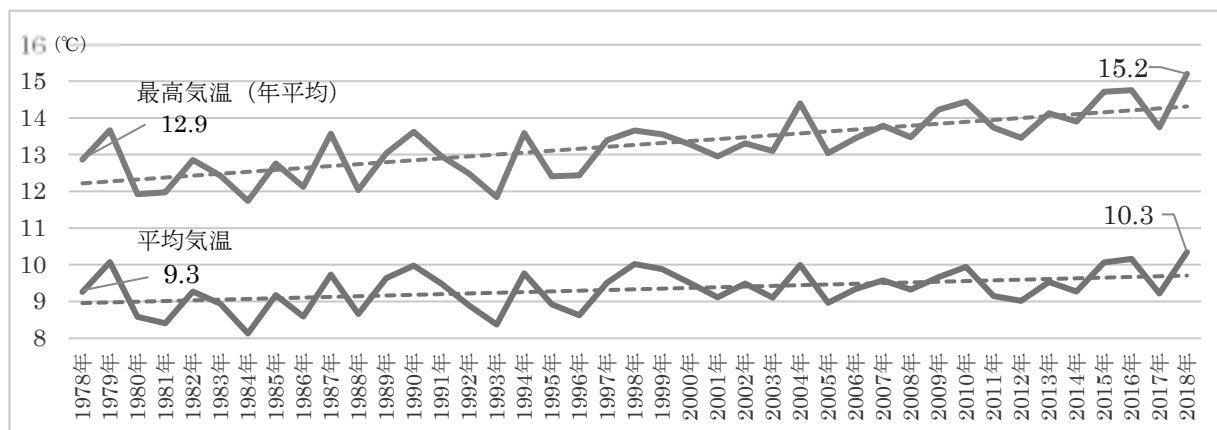
日光国立公園区域となる北西部には、今なお噴煙をはき続ける那須連山の主峰、標高1,915mの茶臼岳がそびえています。その南斜面は那須温泉郷やレジャー施設、別荘が点在する高原地域、町の中央部は農業地域となっています。また、東部の八溝山系一帯は、良質な八溝材の生産地域で、県立自然公園区域に指定されています。



2 気 候

本町の気候は、概ね冷涼で湿気の少ない高原型の気候となっています。内陸部のため気温の年較差、日較差が大きく、高原部と平地部の標高差による気温の較差も見られます。降水量は、7月から9月にかけて多くなり、年間の降水量は約2,000mmとなっています。冬季は山間部を中心に積雪があり、平地部では乾燥した冬晴れの日が多くなります。また、過去40年間の年間平均気温及び最高気温は、上昇傾向で推移しており、年間平均気温は0.75℃上昇しています。

【 過去40年間の平均気温と最高気温の推移 】
(昭和53年～平成30年)

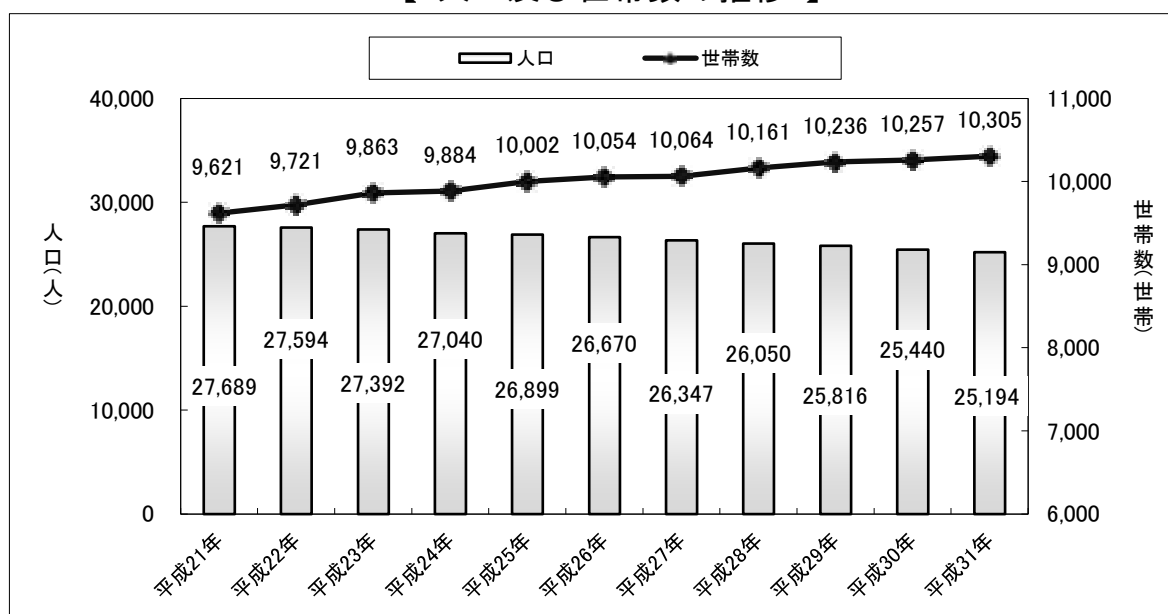


資料：気象庁データ（那須高原気象観測所の観測値）から作成

3 人 口

本町の人口は、減少傾向にあり、世帯数は増加傾向を示しています。人口は、平成 21 年からの 10 年間で 2,495 人減少し、一世帯当たりの人員も 2.9 人から 2.4 人に減っており、核家族化が進んでいる傾向が見られます。

【 人口及び世帯数の推移 】

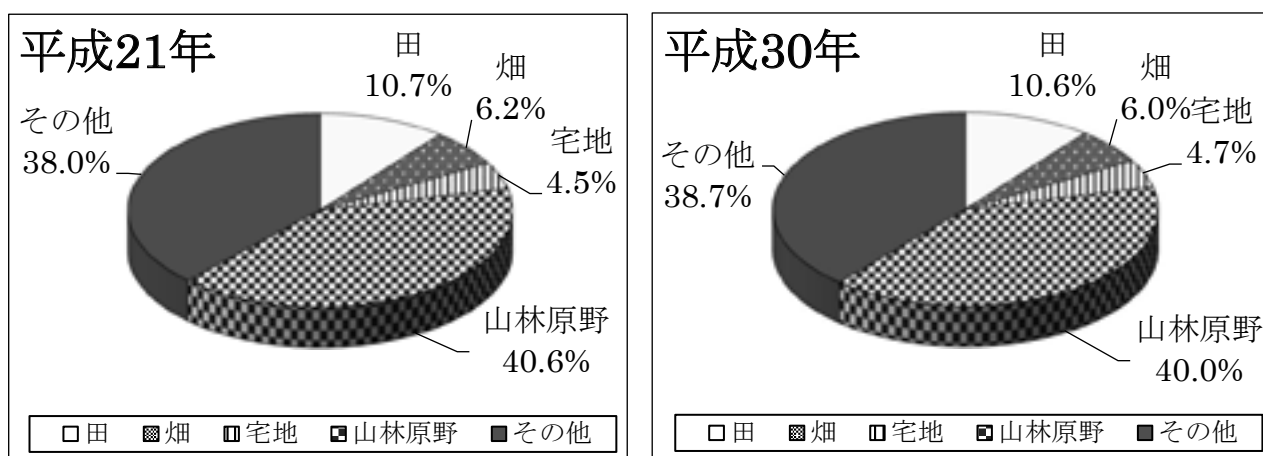


資料：住民基本台帳人口（住民生活課資料）各年 4 月 1 日

4 土地の利用状況

本町の地目別面積は、「山林原野」の割合が最も高く、次いで「田」、「畑」と続いています。近年、「宅地」がわずかに増加傾向にあり、「山林」、「田」、「畑」は減少傾向が見られます。

【 地目別面積の推移 】



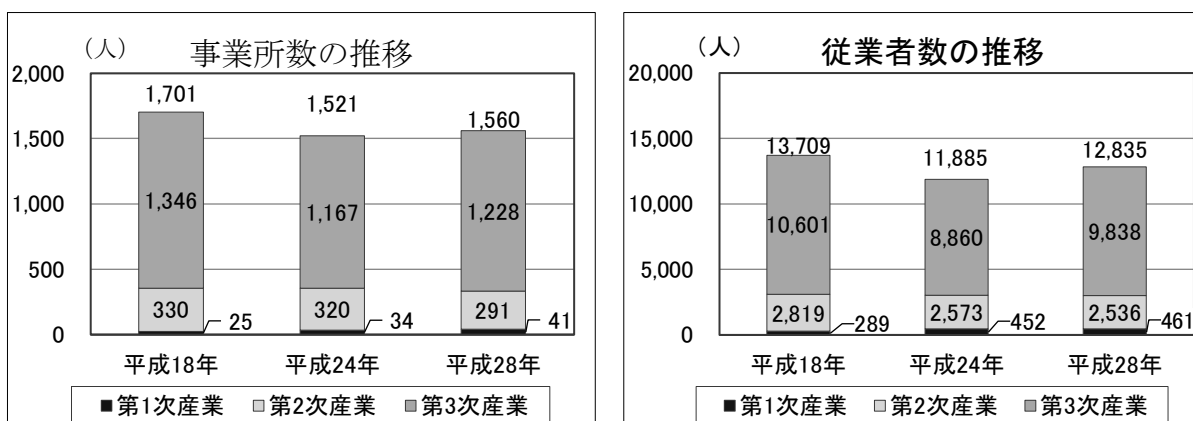
資料：那須町統計書（税務課課税資料）

5 産 業

本町の産業分類別事業所数を見ると、平成 28 年には第 3 次産業が 1,228 事業所と最も多く、全体の 78.7%を占めており、第 1 次産業は 41 事業所 (2.6%)、第 2 次産業は 291 事業所 (18.7%) となっています。

本町は、年間に約 500 万人の観光客が訪れる県内有数の観光地で、観光産業は本町の基幹産業となっています。本町の観光は、歴史ある泉質が豊富な温泉、四季折々の景色が楽しめる豊かな自然があることに加え、テーマパークや美術館などのレジャー施設や様々な形態の宿泊施設など観光資源が豊富にそろっていることも魅力のひとつです。

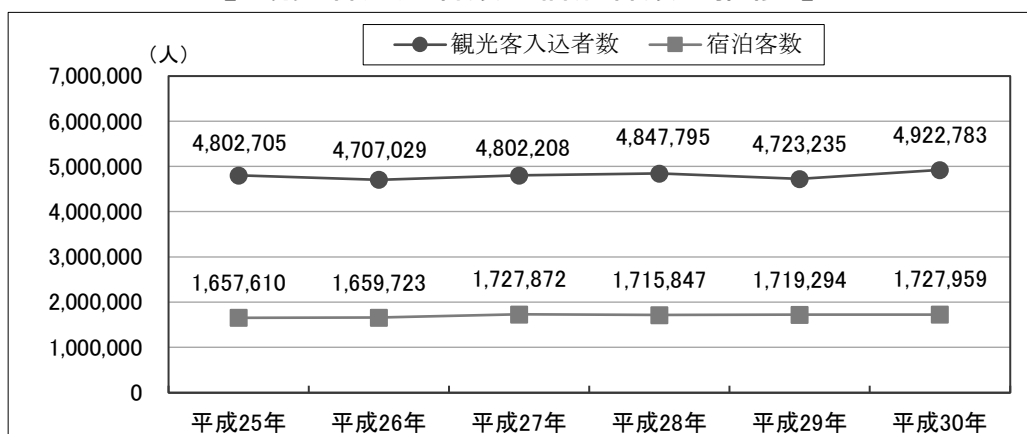
【 産業分類別事業所数及び従業者数の推移 】



資料：那須町統計書 (各年 10 月 1 日現在)

第 1 次産業 農業、林業、漁業
 第 2 次産業 鉱業、建設業、製造業
 第 3 次産業 電気・ガス・熱供給・水道業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業、金融・保険業、不動産業、学術研究、専門・技術サービス業、飲食店、宿泊業、生活関連サービス業、娯楽業、医療、福祉、教育、学習支援業、複合サービス事業、サービス業 (他に分類されないもの)、国、地方公共団体等

【 観光客入込者数・宿泊客数の推移 】

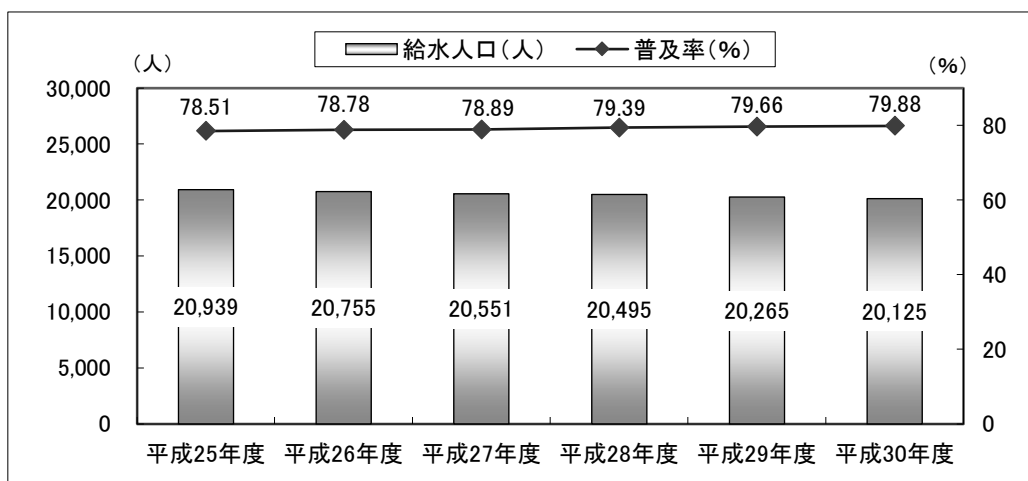


資料：那須町統計書

6 上水道

本町の平成 30 年度の町営水道給水人口は 20,125 人で、普及率は 79.88%となっています。

【 町営水道普及状況の推移 】



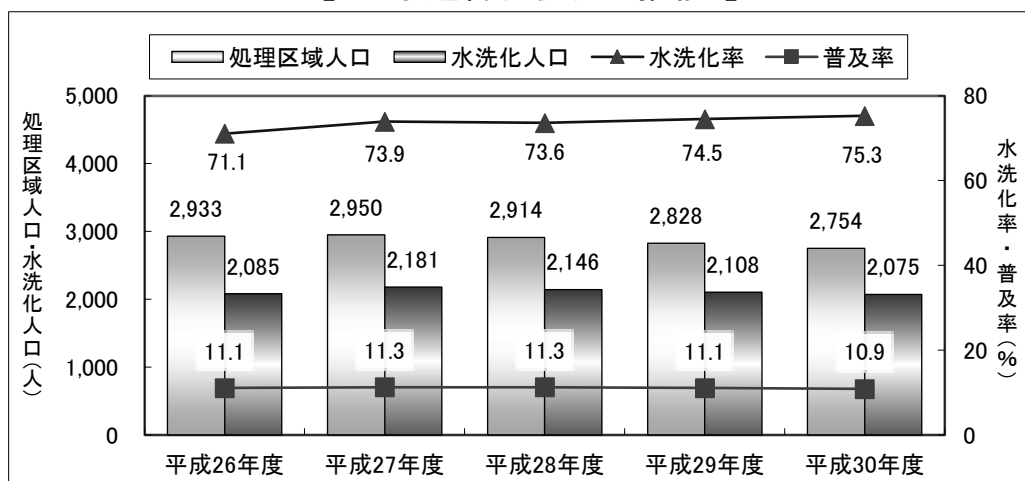
資料：那須町統計書

7 生活排水処理

(1) 下水道

本町では、湯本地区と黒田原地区に下水道施設が整備されており、平成 30 年度の下水道の普及率は 10.9%、下水道処理区域(下水道を利用できる区域)での水洗化率は 75.3%となっています。

【 下水道普及状況の推移 】



資料：那須町統計書

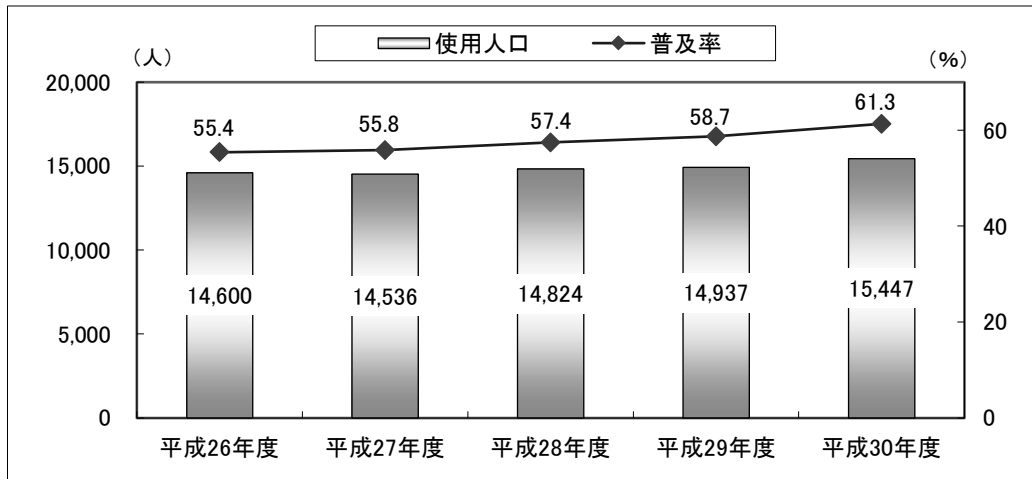
※普及率＝処理区域人口÷町総人口×100

水洗化率＝水洗化人口（下水道接続人口）÷処理区域人口×100

(2) 合併処理浄化槽

公共下水道の処理区域外においては、生活雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図るため、合併処理浄化槽の普及促進を図っています。平成30年度の合併処理浄化槽使用人口は15,447人で、普及率は61.3%となっています。

【 合併処理浄化槽普及状況の推移 】



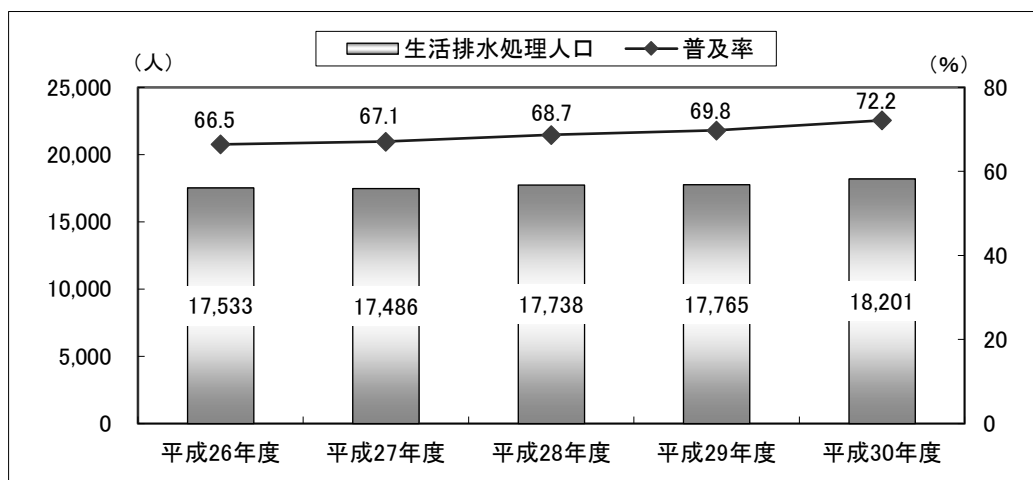
資料：上下水道課

※普及率＝合併処理浄化槽使用人口÷町総人口×100

(3) 生活排水処理人口普及率（下水道＋合併処理浄化槽）

公共下水道及び合併処理浄化槽を含めた普及率（生活排水処理人口普及率）は、72.2%となっています。

【 生活排水処理人口普及率の推移 】



資料：上下水道課